

# なす (ナス科)

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作 型	(苗購入) ○ ———— ○ ———— 定植 第1花開花始 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">収 穫：7月上旬～9月下旬</div> ※自家育苗の場合：は種時期を3月中旬～下旬とし、育苗期間は70日～80日																				

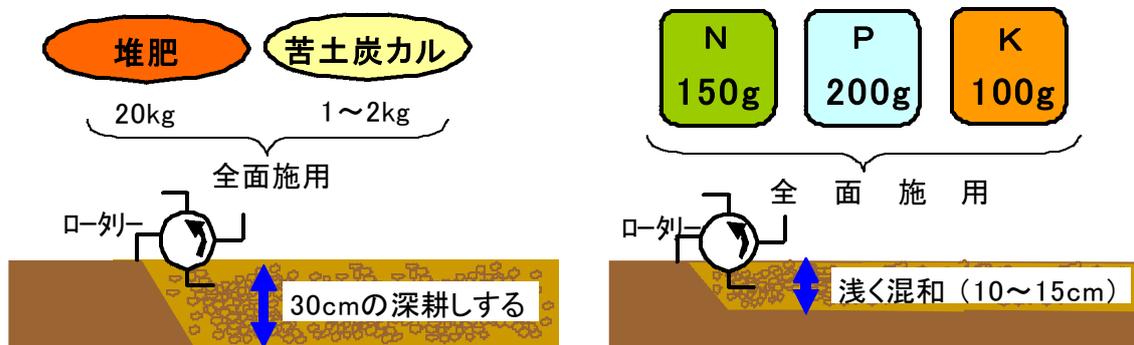
表1 主な品種

品種名	早晩生	果形・果色	特性
千両	極早生	長卵形・濃黒紫色	草勢は強く、分枝が多く、皮軟らかく、多収量
千両2号	極早生	長卵形・濃黒紫色	草勢は強く、節間やや長く、高温期も多収で良品質
くろべえ	極早生	中卵形・濃黒紫色	草勢は強く、立性で着花数多い、耐暑・耐寒性大
長者	極早生	細卵形・濃黒紫色	長ナスの代表品種、分枝の生育が早く、耐暑性大

## 1 栽培管理

### ①畑の準備

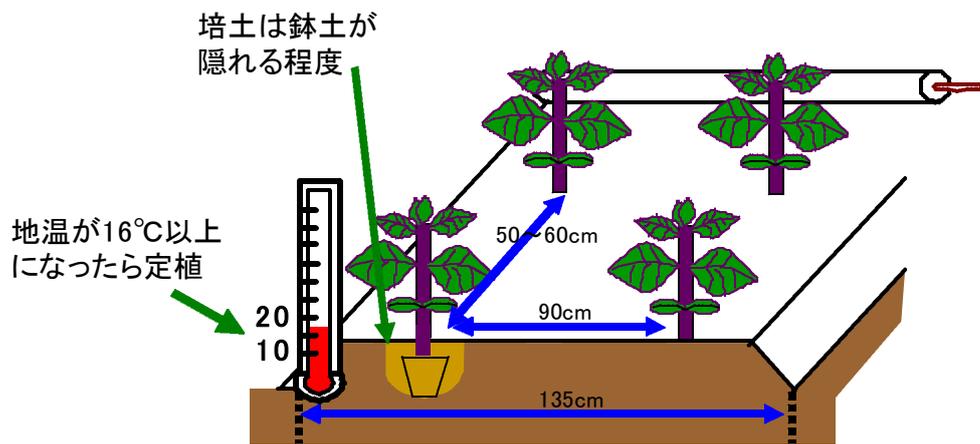
- ・なすは、生育および収穫期間が長く、深根性で垂直に根を伸ばすので、土づくりは深層まで入念に行います。また、石灰や苦土の吸収量も多いので苦土炭カルを施用します。



畑の準備(10㎡当たり)

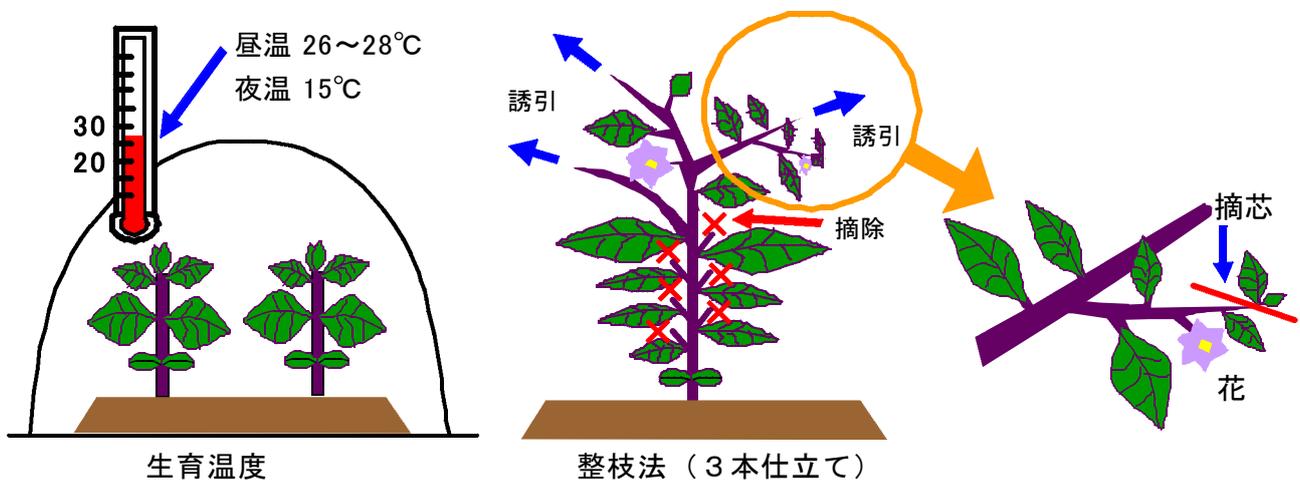
### ②定植

- ・定植の7～10日前にマルチをして、定植時には地温を16℃以上に上げておきます。
- ・マルチは、土壌水分のある時に行います。
- ・地温が16℃以上となり、平均気温が16～17℃になったら定植します。定植する日は温暖、快晴の日を選びます。
- ・定植適期の苗は本葉7～8枚で、第1花が開花始めたころです。
- ・植付ける深さは、鉢土が隠れる程度の浅植えが良いです。
- ・栽植密度は、畦幅を90cm、株間を50～60cmとして、株立て本数は10㎡当たり18～22本とします。



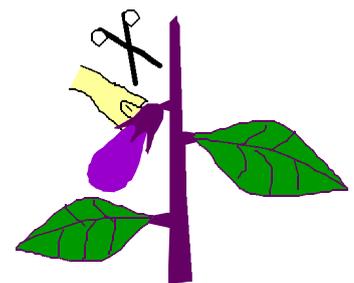
### ③管理

- ・栽培期間が長いので、追肥、病虫害 防除、かん水などの管理は重要で、常に草勢を強めておく必要があります。
- ・定植直後は仮支柱の棒（60cmくらい）に主茎を誘引し、倒伏を防ぎます。側枝が出始めるころまでに本支柱（150cmくらい）を設置にします。
- ・誘引の方法は、光の利用効率が良く、収量・品質の向上につながるV字に組んで誘引する方法とアーチパイプを利用して、ネットにより誘引する方法などがあります。
- ・温度管理は、昼間は26～28℃、夜間は15℃以上になるように行います。
- ・気温が低いとき（15℃以下）に開花・結実した果実は「石なす」となりやすいので、開花当日にトマトトーン50倍液で処理します。
- ・整枝は、第1花の下から出る側枝を2～3本残し、主枝と合わせて3～4本仕立てとします。主枝、測枝から出た枝は、花の先に葉を1枚残して摘芯します。



## 2 収穫の目安

- ・開花後、12～15日で収穫適期に達するので、過熟とならないように収穫します。品質が良く、色、ツヤの良い果実を収穫するためには、早朝気温の低いときに収穫します。
- ・果実を大きくして収穫すると、初期の収量は上がりますが草勢は衰え、収穫果数は少なくなります。特に、収穫初期には草勢維持のために若もぎをします。
- ・収穫時には果実を傷付けないようにへたの部分を持ち、果面に触れないようにして収穫します。



へたの部分を手で持つ  
収穫方法